

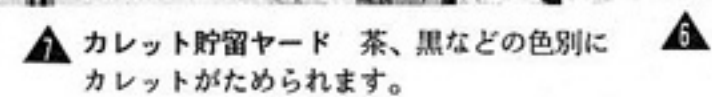
ごみの資源化と減量化のために 稼働して2カ月の資源リサイクルセンター



▲残さヤード 搬入されたごみは最終的に重さで20%、容積で10%になってしまいます。これで埋め立て処分地は命が10倍に延びます。



▲プレス機 鉄缶やアルミ缶を四角にプレスします。スプレー缶はガス抜きしてないと火災の発生原因にもなります。



▲カレット貯留ヤード 茶、黒などの色別にかレットがためられます。



▲ターンテーブル ここでアルミ、そして色別にカレット（割れ瓶）を回収します。



▲破袋作業 麻袋や二重三重の袋は破くのに大変です。また、傘や大きな物はつかえて機械が止まってしまいます。



▲磁選機 可燃物や大きな鉄などを取り除いた後、ここで主に鉄缶を回収します。中身が入っていると回収できません。



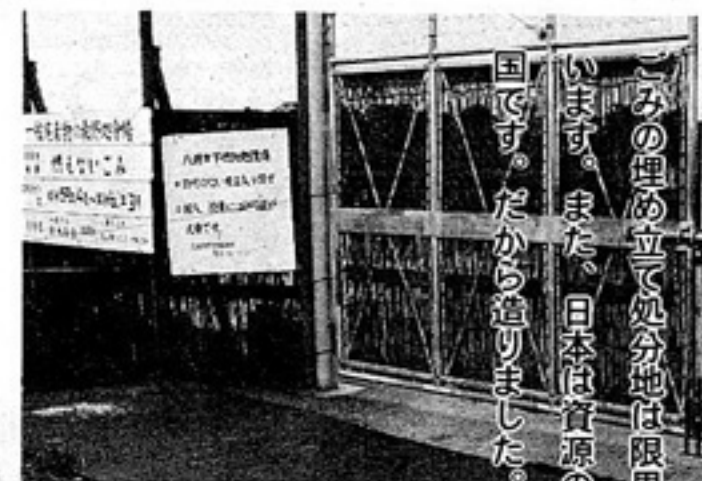
▲トラックスケール ここで、収集したごみの重さを計ります。



▲投入エプロン・コンベアー 運び込まれたごみは、コンベアーに乗って次の作業場へ流れていきます。



▲展示販売コーナー ごみとして出されたものも修理次第で使えるようになります。高齢者事業団が修理し、販売しています。



八潮市資源リサイクルセンター
所在地 伊勢野二五七
延床面積 千七百三十㎡
処理能力 五時間当たり十五t
総工費 二億六千八十万円

「ごみの埋め立て処分地は限界にきています。また、日本は資源の乏しい国です。だから造りました。」

技術が進歩し、生活が豊かになるにつれて、さまざまなごみが生み出され、その量も増大しています。そして、多額の費用をかけて確保した市の埋め立て処分地も限界にきています。そのために市では、今まで燃えないごみとして埋め立てていた空き缶や空き瓶を選別回収することで、ごみの資源化と減量化を進めています。この機能を果たす施設が、「資源リサイクルセンター」です。稼働して二カ月が過ぎたこのセンターに地元伊勢野地区にお住まいの柳川さんと林さん、野内さんの三人が訪れました。

一年間に二千㎡必要

皆さんようこそいらっしゃいました。ごみが、どのように資源化され、減量化されていくのかゆっくり見学していきましょう。柳川さん 見学の前に、このセンターがどのような目的で造られた

のか教えてください。今年三月までは、燃えないごみのほとんどを幸之宮埋め立て処分地に埋め立てていました。しかし、その方法ですと、一年間に約二千㎡の土地が必要となります。これを確保するには、大変な労力と費用が必要です。そこで、空き缶や空き瓶などを



真 林 かねさん（伊勢野）
写 柳川 種吉さん（同）
野内 久子さん（同）

資源として回収し、埋め立てるごみの量を減らそうとこの施設を造りました。林さん ここで働いている方たちは、皆さん市の職員ですか。三者一体で管理運営

十四、五人が働いていますが、市の職員は六人で、粗大ごみの収集と選別の一部、事務を担当しています。そのほかは、八潮環境事業協同組合の人たちです。言わばこのセンターは、清掃業者と高齢者事業団、行政の三者一体で管理運営していることになります。野内さん 四月一日に稼働して二カ月が過ぎましたが、困っていることはありますか。

缶や瓶は中身を捨てて中身の入った缶や瓶が多く入ってきます。それでうじ虫がわいたり、悪臭を放って始末に困っています。野内さん 洗ってとは言わないまでも、中身を出してすぐくらくはするべきですね。現在、燃えないごみと燃えるごみで分別収集していますが、腐った野菜や果物が燃えないごみとして入ってきます。これは燃えるごみです。選別する者や効率的な資源化のためにきちんと分けて出して欲しいですね。柳川さん 粗大ごみと言えようものも混ざっているようですが、大きいごみが混ざってきても機械につかえてしまうことがよくあります。林さん ごみは指定袋で出すことになっていますが、いろいろな袋が使われているようですね。

七月から新しい分別方法

陶磁器や小型家電製品などの資源化できない燃えないごみが入ってくるので、残さが多くでています。そこでもう少し効率の良い資源化をするために、七月一日から燃えないごみの分別方法を変えます。今までの燃えないごみを「資源」と「燃えないごみ」に分けて収集し、収集日程や指定袋も変えます。林さん 資源として回収された鉄やアルミ、カレット（割れ瓶）は、どこへ行くのですか。

各々の回収業者が買い取って行きます。四月中の実績は、アルミや鉄、カレットなど合計約百五十五トンで百五十六万円の売り上げでした。これからごみの量はどんどん増えるの見込みがあります。そのためにも新しい分別方法や日程にご協力ください。

野内さん 見学している時、白煙が上がっていました。作業の途中、消火器の止め金を外れてすごい白煙を出します。消火器はごみとして出さないで欲

問い合わせは、資源リサイクルセンター ☎ 97-16530 か生活経済部環境整備課 ☎ 96-2211 内線三三九・二三四